

頭部挙上訓練法 (Shaker法)



頭部挙上持続運動 1分
休憩1分をはさみ3回



頭部挙上反復運動 1回/1秒 30回

1日3回 6週間

Shaker R: Am J Physiol 1997

高齢者で、喉頭前方移動が増大、食道入口部前後径が増大、嚥下時のUES圧が低下。

Shaker R: Gastroenterology 2002.

食道入口部開大に問題がある経管栄養患者で
喉頭前方移動が増大、UES開大、誤嚥の改善、経口摂取可能。